

Tomato brown rugose fruit virus (ToBRFV)

イスラエル産株

感染植物の病徴写真集



農研機構

2023年3月

本研究は、農林水産省の「安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業（*Tomato brown rugose fruit virus*の多検体診断技術及び防除技術の開発）」（JP J008617, 20320466）により実施した。

種	品種（抵抗性）	接種葉の 症状	上位葉の 症状	全身 感染	ページ
トマト	GCR26 (+/+)	なし	モザイク, 糸葉	+	4
	Rutgers (+/+)	なし	モザイク	+	5
	Micro-Tom (+/+)	なし	なし、モットル	+	6
	GCR237 (<i>Tm-1/Tm-1</i>)	なし	なし	-	7
	GCR26xGCR237 (A) (<i>Tm-1/+</i>)	なし	モザイク	+	8
	GCR26xGCR237 (B) (<i>Tm-1/+</i>)	なし	モザイク	+	9
	GCR26xGCR237 (C) (<i>Tm-1/+</i>)	なし	モザイク	+	10
	GCR526 (<i>Tm-2/Tm-2</i>)	なし	モザイク	+	11
	GCR267 (<i>Tm-2^a/Tm-2^a</i>)	なし	モザイク	+	12
	桃太郎 (Tm-1型)	なし	モザイク	+	13
	おどりこ (Tm-1, Tm-2a型)	なし	モザイク	+	14
	ハウス桃太郎 (Tm-2a型)	なし	モザイク	+	15
	麗夏 (Tm-2a型)	なし	モザイク	+	16
	フルティカ (Tm-2a型)	なし	モザイク	+	17
	TY千果 (Tm-2a型)	なし	モザイク	+	18
	イエローミミ (Tm-2a型)	なし	モザイク	+	19
	サンチェリーピュアプラ ス (Tm-2a型)	なし	モザイク	+	20
	鈴姫 (Tm-2a型)	なし	モザイク	+	21
	富丸ムーチョ	なし	モザイク	+	22
ピーマン	昌介(+/+)	退緑	モザイク	+	23
	California Wonder (<i>L¹/L¹</i>)	壊死斑点	なし	-	24
	Tabasco(<i>L²/L²</i>)	壊死斑点	なし	-	25
	台パワー(<i>L³/L³</i>)	壊死斑点	なし	-	26
	みおぎ (<i>L³/+</i>)	壊死斑点	なし	-	27
	L4台パワー (<i>L³/L⁴</i>)	壊死斑点	なし	-	28
	L4みおぎ(<i>L⁴/+</i>)	壊死斑点	なし	-	29
ナス	黒秀ナス 紫彩	なし	退緑, 波打ち等	+	30
ジャガイモ	男爵薯	なし	なし	-	31
	コナヒメ	なし	なし	-	32
	コナフブキ	なし	なし	-	33
	パールスターチ	なし	なし	-	34

種	品種（抵抗性）	接種葉の 症状	上位葉の 症状	全身 感染	ページ
ハリナスビ	-	なし	モザイク	+	35
<i>Solanum peruvianum</i>	ポテモン	なし	モザイク	+	36
ホオズキ	大実ほおずき	退緑	モザイク	+	37
ペチュニア	バカラ ホワイト	なし	なし	+	38
ペピーノ	-	なし	モットル	+	39
イヌホオズキ	-	なし	モザイク	+	40
アメリカ イヌホオズキ	-	なし	モザイク	+	41
オオイヌ ホオズキ	-	なし	モザイク	+	42
ヒロハフウリン ホオズキ	-	なし	モザイク, 糸葉	+	43
ホソバフウリン ホオズキ	-	壊死斑点, 落葉	なし	-	44
オオセンナリ	-	なし	退緑斑点	+	45
<i>Nicotiana benthamiana</i>	-	退緑斑点	全身えそ	+	46
<i>N. glutinosa</i>	-(N)	壊死斑点	なし	-	47
<i>N. tabacum</i>	Samsun	退緑斑点	モザイク	+	48
<i>N. tabacum</i>	Xanthi nc (N)	壊死斑点	なし	-	49
<i>N. rustica</i>	-	壊死斑点	なし	-	50
<i>N. sylvestris</i>	-(N)	壊死斑点	モザイク, 全身えそ	+, (-)	51
<i>Chenopodium amaranticolor</i>	-	紅色壊死斑点	なし	-	52
<i>C. murale</i>	-	退緑斑点	モザイク	+	53
<i>C. quinoa</i>	-	黄色斑点	(退緑斑点)	-, (+)	54
エンドウ	ウスイ	なし	なし	-	-
エンドウ	久留米豊	なし	なし	-	-
シソ	青しそ	なし	なし	-	-
キク	日本小菊	なし	なし	-	-

引用文献：

久保田健嗣, 竹山さわな, 石橋和大, 松下陽介, 富高保弘, 松山桃子, 篠坂 響, 大崎康平 (2023) Tomato brown rugose fruit virus の宿主範囲および病原性. 日本植物病理学会報 89:225–234
<https://doi.org/10.3186/jjphytopath.89.225>

トマト, Tomato, GCR26, +/-



1.



2.



3.



4.



5.

トマト, Tomato, cv. Rutgers, +/+



1.



2.



3.



4.



5.

トマト, Tomato, Micro-Tom, +/-



1.



2.



3.



4.



5.



6.

トマト, Tomato, GCR237, *Tm-1/Tm-1*



1.



2.



3.

トマト, Tomato, 桃太郎, Tm-1型



1.



2.



3.



4.

トマト, Tomato, GCR26 x GCR237 (A), *Tm-1/+*



1.



2.



3.



4.

トマト, Tomato, GCR26 x GCR237 (B), *Tm-1/+*



1.



2.

トマト, Tomato, GCR26 x GCR237 (C), *Tm-1/+*



1.



2.



3.

トマト, Tomato, GCR526, *Tm-2/Tm-2*



1.



2.



3.

トマト, Tomato, GCR267, $Tm-2^a/Tm-2^a$



1.



2.



3.



4.

トマト, Tomato, ハウス桃太郎, Tm-2a型



1.



2.



3.



4.



5.